

No.	区分	意見の概要	本市の考え方・対応
1	業務改善について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の見直し案について、変更理由や変更後の工事方法は理解できますが、地盤状況の調査は基本設計の段階で行っておくべきものであり、民間の認識では考えられません。</li> <li>・耐震補強を行わない場合との比較もあったので、基本設計の段階で費用をかけるのはもったいないとの考えがあったと推測されますが、結果的には再説明や設計見直しで、工期の遅れや費用の増加になっていると思います。</li> <li>・行政の仕事のやり方の問題だと思うので、改善に取り組んでください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本設計の段階においては、過去にカラミレンガ塀の周辺施設である岡富中学校の校舎及び体育館の建設工事や上下水道局の庁舎増築工事の際に行ったボーリング調査から得られたデータを用いて耐震補強工法の検討を行ったところです。</li> <li>・その後の実施設計の段階においては、より正確な地盤の状況を確認する必要から、カラミレンガ塀付近の地盤調査を実施しております。</li> <li>・岡富中学校やその周辺がもともと河川等の影響により、地盤が非常に不安定な所であることを今回、市では改めて認識しましたので、今後この周辺エリアでの工事等の際には今回の教訓を活かしてまいります。</li> </ul>
2	工事費について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の見直し案には異論はありませんが、実行段階でのコストダウンをお願いします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観や耐震性、施工のし易さなどを考慮するとともに、入札においても条件付き一般競争入札という競争性を高める方法も採用しながら、可能な限りコストダウンを図ってまいります。</li> </ul>
3	工法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・珪酸ソーダやセメントミルク等を使用した地盤改良工事を行ったうえで、B案を採用すれば7,800万円未満の工事費で施工できると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状のカラミレンガ塀は、学校敷地側へ若干傾斜していることから、現地盤を相当程度掘削する必要のある改良工事を行った場合には、塀が崩壊する可能性が高いことが想定されます。</li> <li>・また、補強を行う学校敷地内には、防球ネットや大木、倉庫などといった施設等が多く存在しており、ご指摘の地盤改良工事を行うことは却って工事費の大幅増につながる恐れがあるなどの理由から、施工可能な方法として、杭径が小さく、支持力を確保できる鋼管杭を採用することとしております。</li> </ul>
4	工法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【C案】に対する懸念事項として、カラミレンガ塀の目地は、補強材挿入と裏面の繊維系補強材接着で、崩れる可能性は低下し、落下の可能性の高い笠木レンガの撤去で安心が高まりましたが、基礎の石垣の補強の内容がわかりません。</li> <li>・石垣が崩れてしまえば、この計画の補強は意味のない工事に成りかねませんので、目地部分の補強を計画してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラミレンガ塀の基礎石垣部については、これまでに実施した掘削等の調査により、健全な状態を維持していることが確認されております。</li> <li>・そのうえで、今回の工事では塀の重量などによる基礎石垣部への負担軽減が図られるよう、笠木レンガを撤去することや、補強材を鉄骨とすることにより、全体を軽量化した補強工法を採用することとしております。</li> <li>・更に鉄骨補強材を支える鋼管杭を地中に埋設するなど、塀を支える力を地中に分散することで、これまでよりも石垣に掛かる負荷が軽減されることとなります。</li> <li>・このような対策を図ることにより、基礎石垣部への補強は基本的には必要ないものと考えております。</li> </ul>